

機械器具 74 医薬品注入器
一般医療機器 経腸栄養注入セット 70400000

ジェイフィード栄養ボトル

再使用禁止

(セット付・ロックタイプ・DEHPフリー)

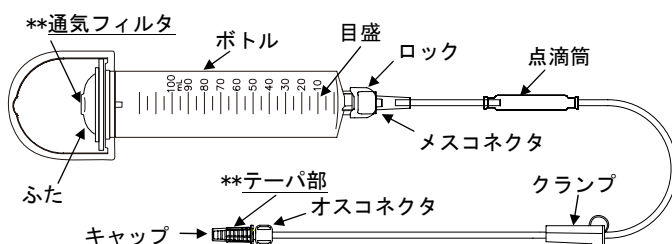
【禁忌・禁止】

- 再使用禁止

**【形状・構造及び原理等】

本品は、ボトル、ふた、点滴筒、チューブ、クランプ、オスコネクタからなる。

<構成>



- ・本品はポリ塩化ビニル(可塑剤: トリメリット酸トリ(2-エチルヘキシル))を使用している。

【使用目的又は効果】

胃又は腸に挿入したカテーテルと連結して栄養剤、医薬品等を投与する器具。

**【使用方法等】

1. 包装から本品を取出します。
2. クランプを完全に閉めます。
3. あらかじめ調剤した栄養剤等を、汚染に注意してボトルに充填後、ふたをします。
4. 充填済ボトルをガートルスタンドにつるします。
5. 栄養剤等を点滴筒の半分程度まで入れてクランプを徐々に開きます。
6. 栄養剤等を本品のオスコネクタまで満し、クランプを完全に閉めます。
- **7. オスコネクタのキャップを外し、栄養カテーテル等に緩みや外れが生じないようにしっかりと接続します。
8. クランプを徐々に開き速度を調整し、投与を開始します。

<点滴量(滴下数)>

1mL≒15 滴

【使用方法等に関連する使用上の注意】

- 点滴量については、一滴あたりの容積が栄養剤等によって異なる可能性があるので注意すること。
- 点滴筒内一杯に栄養剤等をためないこと。
- プライミング後、点滴筒を横にしたり、傾けたりしないこと。
[ライン内にエアが混入し、栄養剤等が流れにくくなる可能性がある。]
- 栄養カテーテル等を接続する際は、チューブのねじれ、引っ張りに注意すること。又、過度なかん合をしないこと。[チューブとコネクタの接合面が剥離し、チューブの外れ、液漏れ等を生じる可能性がある。][コネクタが外れない、又はコネクタが破損する可能性がある。]

- コネクタ等のテーパ部に栄養剤等が付着した状態で接続した場合は、接続部に緩みが生じるので注意すること。
- 投与を一時停止又は終了する際には、滴下が完全に止まるまでクランプを閉じること。
- 投与を一時停止する際は、クランプを長時間閉めた状態にしないこと。[クランプ部分のチューブの内面が密着し閉塞を生じる又はチューブの変形により、栄養剤等が適正に投与されない又は内圧の上昇の原因になる。]なお、クランプを閉じた後に投与を再開する場合は、チューブに閉塞及び変形がないことを確認すること。
- 鉗子又はクランプをチューブと硬質部品の接合部に移動させ、クランプ操作しないこと。[チューブが破損する、又は接続部が外れる可能性がある。]
- 鉗子等でチューブをクランプする場合は、チューブを傷つけないように注意すること。[チューブの破損、液漏れが生じる可能性がある。]
- クランプ調整を行う際は、ローラに対して斜め方向に力を加えないこと。[ローラの破損や脱輪が生じる可能性がある。]

**【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 包装を開封したらただちに使用すること。
- 開封時は接続部の外れや緩みがないことを確認してから使用すること。
- 個包装を開封する際は、はさみ等の刃物を使用しないこと。[本品を傷つけ、液漏れが生じる可能性がある。]
- **● 本品は自然滴下(落差)方式のみで使用すること。
- **● 本品に 15N を超える引っ張り負荷を加えないこと。
- **● 本品内に 20kPa を超える圧力を加えないこと。
- 使用中は各接続部の緩み、液漏れ及び破損等に注意し、定期的に確認すること。
- 使用中は本品が、患者の下敷き又はガートルスタンド等に引っ掛かることがないように注意し、定期的に確認すること。[チューブ接続部からの外れ又は構成品の破損等により、栄養剤等の漏れが生じる可能性がある。]
- チューブの接続部を曲げたり、チューブを過度に引っ張ったり、押し込むような負荷がかからないようにすること。[接続部の外れ及び栄養剤等の漏れ、チューブの破損等が生じる可能性がある。]
- メスコネクタ部分にボトルを強く押し付けるような負荷を加えないこと。[亀裂、破損が生じる可能性がある。]
- 栄養剤等の汚染防止に努めること。
- 本品に栄養剤等を充填した状態で長時間の保管及び投与の中断はしないこと。
- ボトル内に固形物を入れないこと。[ラインが詰まる。必要な投与ができない。]
- ボトルの中で溶解、調剤する場合は十分に栄養剤等が溶解していることを確認すること。
- ボトルを落下させたり、衝撃を加えたりしないこと。[破損及び液漏れが生じる可能性がある。]
- 粘度が高い又は不溶解物がある成分栄養剤の投与では、詰まりによる流量の変化の可能性があるため、流量の管理には十分注意すること。

- 界面活性剤が含まれた栄養剤等を使用するとふた部分の通気フィルタが親水化され、通気不良が発生することがあるので注意すること。
- ボトルの目盛は、目安として使用すること。

2. その他の注意

- コネクタ等の先端部には直接手を触れないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- 水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

2. 有効期間

- 箱の使用期限欄を参照すること。[自己認証(当社データ)による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元

株式会社ジェイ・エム・エス

電話番号：082-243-5806